

山形県南陽市

【テーマ】戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

橋梁・道路施設の維持管理に係る官民連携の導入検討

橋梁等の道路施設について、維持管理計画を策定して効率的かつ効果的な維持管理に取り組んでいるが、財政面や体制面で多くの課題を抱えているため、これらを解決しさらなる効率化、コスト削減を図るため、地元企業の活用を前提とした官民連携導入によるインフラメンテナンス手法の検討を行いたい。

①解決したい課題

【人口】 29,072人（R7.1 .1 現在）

【面積】160.52km²

【橋梁数】183橋（R6.3.31現在）

内 橋長15m未満の小規模橋145橋（79%）

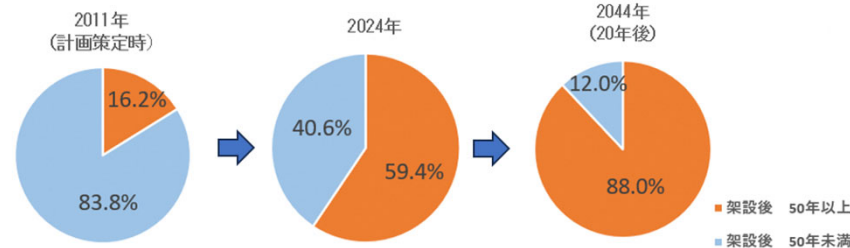
【課題】

（1）維持管理費の増加による予算不足、人員不足

- ・50年以上経過した老朽橋が、既に約60%に達しており、20年後には約90%の見込み。
 - ・今後、維持管理に係る必要事業費はさらに増大することが想定されるが、市の財政状況からは、維持管理予算や職員の増強は見込みにくい状況。
- ⇒ 桁下へアクセスしやすい小規模橋を対象に職員直営点検によるコスト削減の取組を始めているが、職員の体制・技術力から多くの橋に展開していくことは難しい。

（2）地域企業の維持・育成

- ・人材不足、橋梁補修等専門工種の下請依存による利益率の低下
- ⇒ 技術支援による地域企業で対応可能な業務・工事の維持・拡大、及び専門工種との分業の最適運用化を検討していきたい。



②課題解決の方向性等

【課題解決の方向性、シーズ提案に期待する事項】

- ・橋梁の維持管理について、コスト削減（包括的民間委託など）しながら、安全性の確保が可能なメンテナンスサイクルを確立したい。
- ・割合が多い小規模橋の、Ⅱ判定橋梁に対して、効果的な方法で予防保全的措置（点検時における補修）を推進し、Ⅲ判定橋梁の増加を抑止したい。
- ・道路舗装や標識についても、交通量等に応じた経済的かつ効果的な方法で予防保全的措置や延命化を図りたい。
- ・上記を踏まえた橋梁、舗装、標識等のメンテナンスを効率化・合理化するための新技術活用や地元企業の活用を前提とした業務包括化の手法の提案
- ・他自治体との連携・協働による、インフラメンテナンス事業の合理化のスキーム提案
- ・道路施設の集約化・撤去の合理的な進め方や地域住民からの要望等に対して合理的な対応判断を効率的に支援できるスキームの提案

③課題解決のイメージ・効果

【自治体】 効率的かつ経済的なメンテナンスサイクルの確立。担当職員の労力低減、かつメンテナンスに対する意識・技術力の向上

【地域企業】 業務量の維持・拡大 ⇒ 地域の測量・設計・建設などを担う企業の維持

【地域住民】 安全・安心なインフラ利用の継続